

## 2018 学習塾講師検定 集団指導 1 級試験実施要項

集団指導 1 級試験は、集団指導 2 級合格者を対象として、受験者本人の模擬授業映像を、協会が選定した複数の公認審査員による規程に定めた「学習塾講師検定【集団指導 1 級】評価マニュアル」(学習塾講師検定制度サイトの■制度の概要「学習塾講師検定の評価基準」をクリックして下さい。)に従って評価を行います。集団指導の学習塾講師として所定の基準点を満たしていると判定された者を合格とします。

受験者の皆様は、「集団指導 1 級評価チェックシート」、「学習塾講師検定【集団指導 1 級】評価マニュアル」をよくお読みください。

そして、集団指導 1 級評価チェックシート記載の「求められる行動基準」が、皆様の模擬授業映像に行動として表れているかを審査員が審査します。

また、「学習塾講師検定【集団指導 1 級】評価マニュアル」に記されている採点方法や審査手順について、理解しておくことをお勧めします。審査手順に記すように、模擬授業映像を「Ⅰ 導入」、「Ⅱ 展開」、「Ⅲ まとめ」に分けて採点していくことを理解して模擬授業の撮影に臨んで下さい。

### 受講対象

1. 「学習塾講師検定 集団指導 2 級認定証」を発行された者
2. 上記と同等の能力を身につけていると全国学習塾協会が認定する者

### 受験料

7,700 円(8,316 円税込)

※一度振り込まれた受験料は一切払い戻しできません。

### 受験料支払方法

受講料を次の銀行口座にお振り込みください。

<三菱東京UFJ銀行 本店 普通口座 7642072 口座名 シヤ)ゼンコカクシユウジユクキョウカイ>

**まず、下記の試験申込受付期間内に「学習塾講師集団指導 1 級 実技試験受験申込書【A票】」を送付し、受験料をお支払いください。**

### 試験申込受付期間


平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 9 月 29 日

### 受験科目

受験科目は、筆記試験「担当科目理解度テスト」の受験科目と同一であること。

## 集団指導 1 級試験実施要項

### 提出書類等

- ・ [学習塾講師集団指導 1 級 実技試験受験申込書【A票】](#)  「提出書類様式ダウンロード」からダウンロードしてお使いください。
  - ・ 受験料の振込を確認できる証憑の写し
- ※着金を確認して申込書受領といたします。

### 受験申込書【A票】記入・その他の注意




- ・ A票の受験番号（受験者 I D）は集団指導 2 級認定番号の上 7 桁を使用します。
- ※例……認定番号 1234567(01) の方の場合、「1234567」と記入。
- ・ 受験料を会社が負担する場合は、会社による提出書類等の取りまとめの有無を確認してください。
  - ・ 受験料を会社が負担する場合は、受験料の振込を確認できる証憑の申込書添付は不要です。ただし、申込書の「受験料振込に関する特記」をご記入ください。

下記の試験映像受付期間内に「**学習塾講師集団指導 1 級 実技試験映像提出書【B票】**」と付随する書類、データ等を送付してください。

### 試験映像受付期間

平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 10 月 26 日[必着]

### 提出書類等

- ・ [学習塾講師集団指導 1 級 実技試験映像提出書【B票】](#)  「提出書類様式ダウンロード」からダウンロードしてお使いください。
- ・ 身分証明書の写し（写真を含む）
- ・ 集団指導 2 級 認定証のコピー
- ・ 模擬授業映像データ（「模擬授業映像の媒体・撮影条件に関するガイドライン」参照）
- ・ [補足説明書](#)  「提出書類様式ダウンロード」からダウンロードしてお使いください。
- ・ 模擬授業に使用した教材のコピー
- ・ [自己評価チェックシート](#)  「提出書類様式ダウンロード」からダウンロードしてお使いください。

### 試験映像提出書【B票】記入その他の注意

- ・ B票及び補足説明書の受験番号（受験者 I D）は集団指導 2 級認定番号の上 7 桁を使用します。
- ※例……認定番号 1234567(01) の方の場合、「1234567」と記入。

### 書類・映像等の送付先

公益社団法人全国学習塾協会 学習塾講師検定事業部  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-39-2

模擬授業映像データの撮影条件および提出媒体に関するガイドライン

- ・ 模擬授業映像データは、下記の要領で作成・提出すること。
  - ・ なお、画質や音声が悪化しているデータは評価の対象とならない場合もあるので十分に留意すること。
- ※ガイドラインを遵守するために□欄にチェックしながら進めてください。
- <撮影場所>
- 静かで十分に明るい場所とし、必ずしも学習塾の教室である必要はない
  - 塾生はいない状態で撮影すること
  - 黒板・ホワイトボード等の説明補助機材を用意すること
- <カメラのセット方法>
- カメラは1台のみとする
  - 三脚等を用い、カメラを固定した状態で撮影すること
  - この際、撮影画面の横幅は黒板・ホワイトボード等の説明補助機材より若干広く映るように、縦幅は講師の腰より上が映るようにカメラをセットすること
- <授業の進め方>
- 撮影時間は15～30分以内とすること
  - 編集および撮影の中断は不可とする
  - 撮影にあたっては、別に定める「審査手順」をよく確認して授業構成を行うこと
- ※「審査手順」は同封の「評価マニュアル」に所収しています。
- 塾生が教室内にいると想定すること（塾生に質問を投げかけるなどしてもよい）
  - 黒板・ホワイトボード等の説明補助機材を使用すること
- <提出媒体>
- DVD（ファイナライズを行い、他のDVDプレーヤーでも再生できることを必ず確認すること）
- <留意点>
- 全国学習塾協会ホームページに、「コンピテンシー・ディクショナリ」、「評価マニュアル」、「自習用DVD（頒布）」等を公開するので、事前に自学自習の上、あなた自身の授業内容と照らし合わせて検討し、撮影することが望ましい。